

視で3つ、近赤外で2つのスペクトル間隔)以上の観測ができる測定システムを使用する必要があることがわかった。

これらの結果は、宇宙空間から自然を多目的に調査するときには、パラメーターの最適選択の問題が最も重要であることを示している。けれども、こうした研究結果

は、方法的な価値をもつだけで、今回用いた各種パラメーターに対する要請に関する資料は任意的だし、自然形成物のスペクトル反射率のデータも適切ではない。この研究をさらにすすめていくためには、遠隔観測の諸問題を具体的に解く目的のシミュレーション実験が必要である。

### 気象学会および関連学会行事予定

| 行 事 名   | 開 催 年 月 日             | 主 催 団 体 等  | 場 所         |
|---|-----------------------|--|-------------|
| 日本気象学会創立100周年記念式典   | 昭和57年5月25日            | 日本気象学会   | 日本教育会館      |
| 昭和57年日本気象学会春季大会   | 昭和57年5月26日～28日        | 日本気象学会   | 日本教育会館      |
| 第26回山の気象シンポジウム  | 昭和57年6月19日            |  | 気象庁         |
| 第19回理工学における同位元素研究発表会  | 昭和57年7月5日～7日          |  | 国立教育会館      |
| 第8回レーザーレーダ(ライダー)シンポジウム  | 昭和57年7月8日～9日          | レーザーレーダ研究会                                       | 山王共済会館      |
| 第2回水資源に関するシンポジウム  | 昭和57年8月3日～5日          | 空気調和・衛生工学会ほか                                     | 科学技術館(東京)   |
| 第20回粉体に関する討論会   | 昭和57年10月5日～7日         | 日本化学会ほか  | 京大会館        |
| 昭和57年日本気象学会秋季大会   | 昭和57年10月13日～15日       | 日本気象学会   | 札幌市教育文化会館   |
| Regional Scientific Conference on Tropical Meteorology (熱帯気象学に関する地域科学会議)  | 昭和57年10月18日～22日       |  | 筑波研究交流センター  |
| International conference on the physics, chemistry, and meteorology of precipitation scavenging, dry deposition, and resuspension | 1982年11月29日～<br>12月3日 | American Meteorological Society<br><i>et al.</i> | Los Angeles |
| 第7回風工学(構造物の耐風性)シンポジウム   | 昭和57年12月9日～10日        | 電気学会ほか   | 東京          |